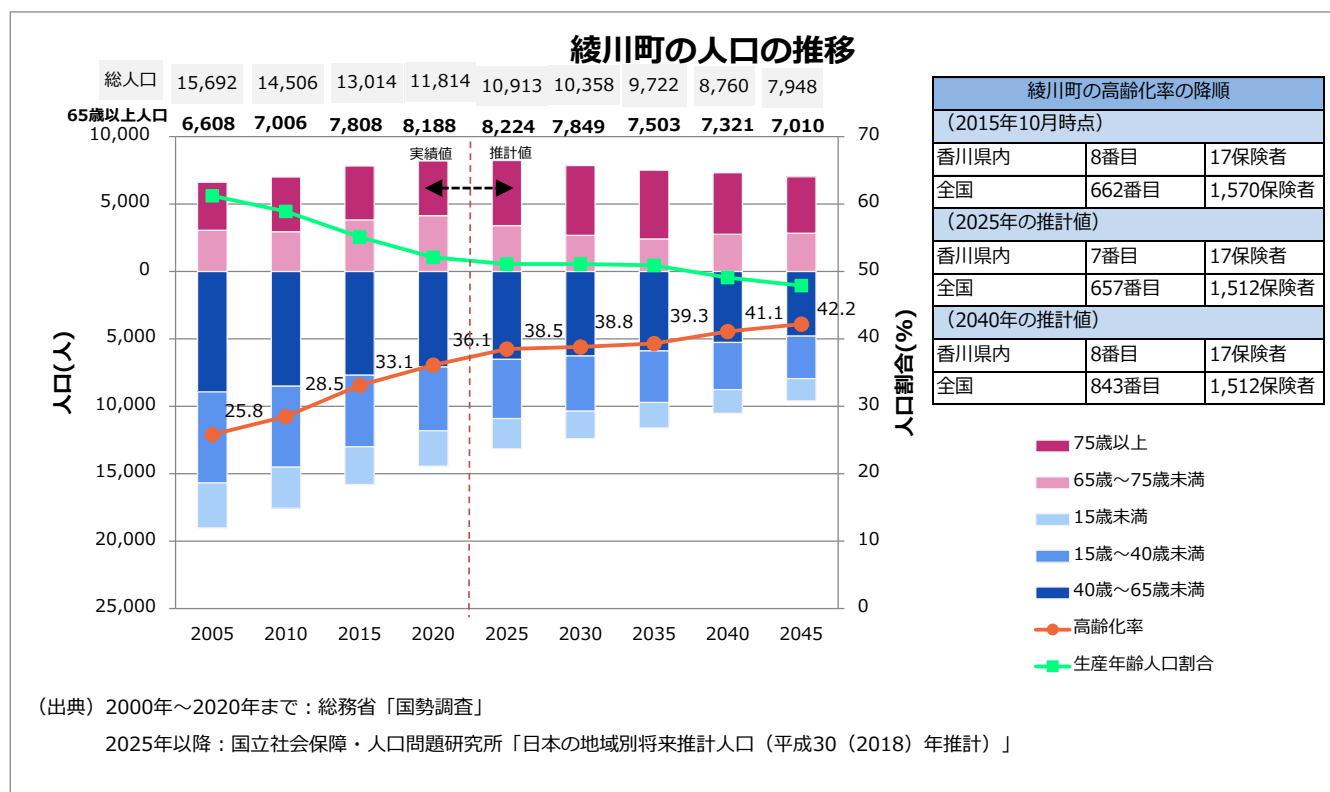
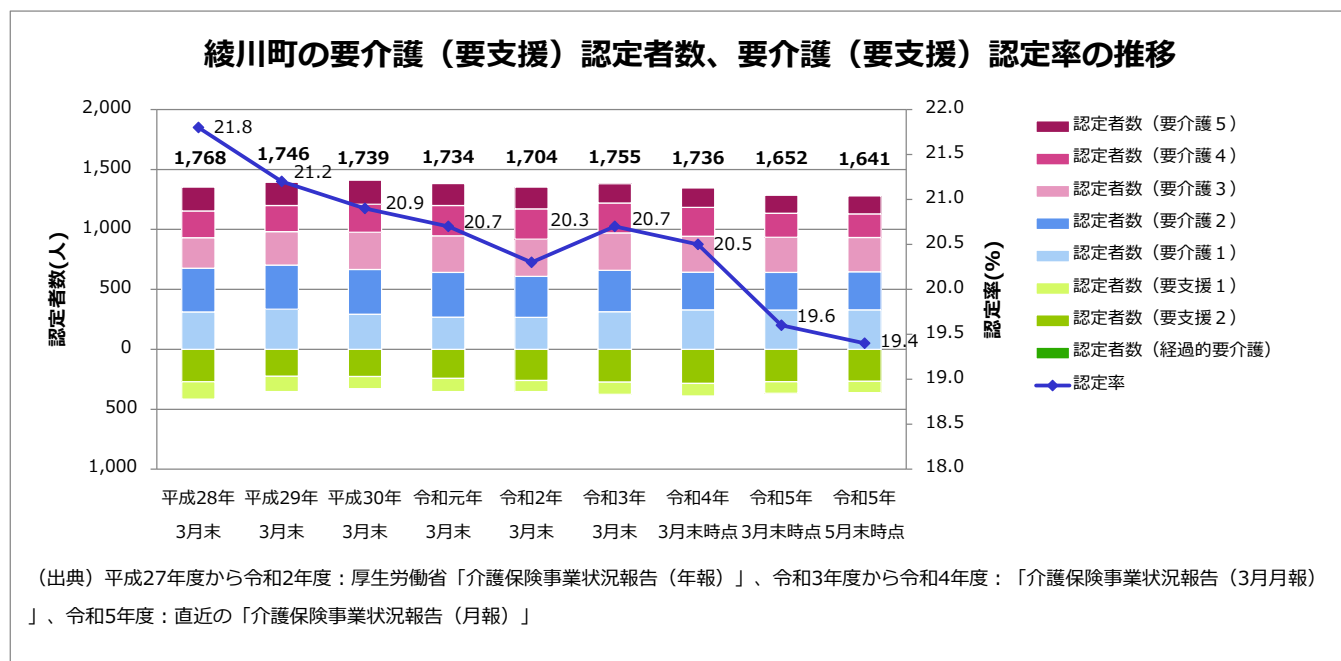


綾川町の介護保険事業等の現状について

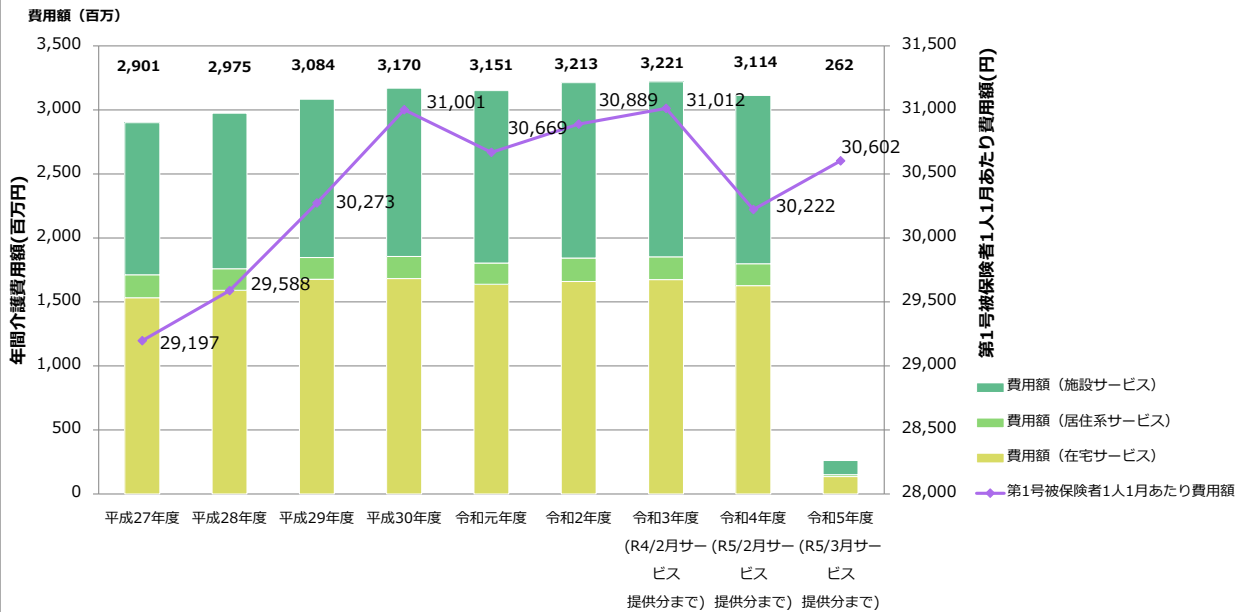


- ・総人口は、減少が継続している。65歳以上人口（高齢者人口）も2025年以降は、減少傾向となっている。



- ・認定率は、平成28年以降、概ね減少傾向にある。認定者数も令和3年以降減少傾向となっている。

綾川町の介護費用額の推移

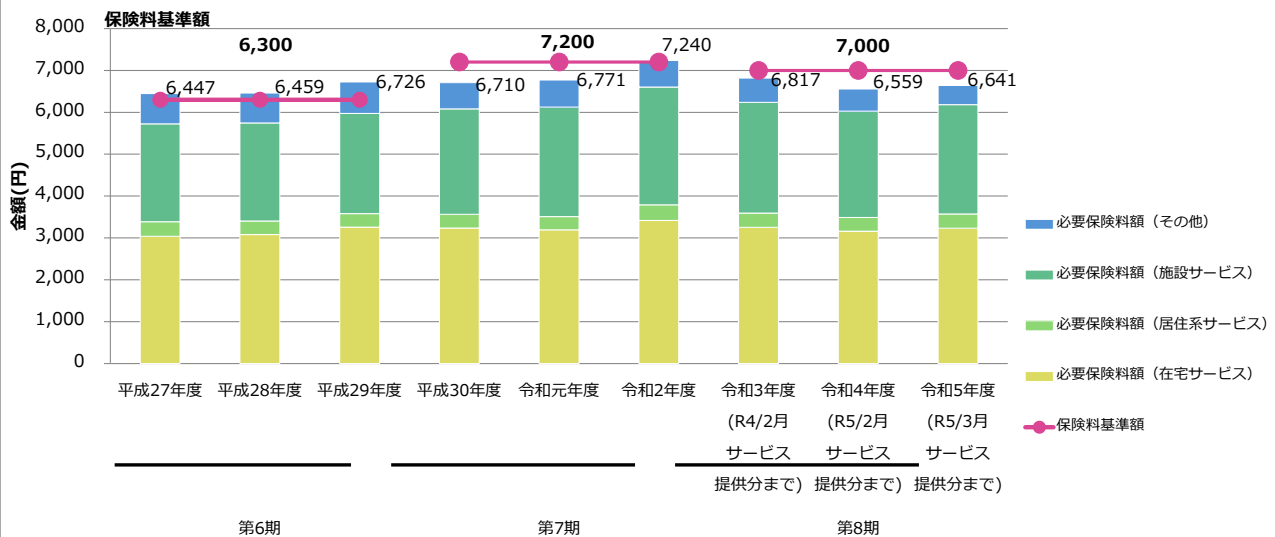


（出典）【費用額】平成27年度から令和2年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和3年度から令和4年度：「介護保険事業状況報告（月報）」の12か月累計、令和5年度：直近月までの「介護保険事業状況報告（月報）」の累計（※補足給付は費用額に含まれていない）

【第1号被保険者1人あたり費用額】「介護保険事業状況報告（年報）」（または直近月までの月報累計）における費用額を「介護保険事業状況報告（月報）」における第1号被保険者数の各月累計で除して算出

- 第1号被保険者1人1月あたりの費用額は、平成30年度以降、ほぼ横ばいである。年間介護費用額は、令和3年度まで、概ね増加傾向にある。

綾川町の保険料額の推移

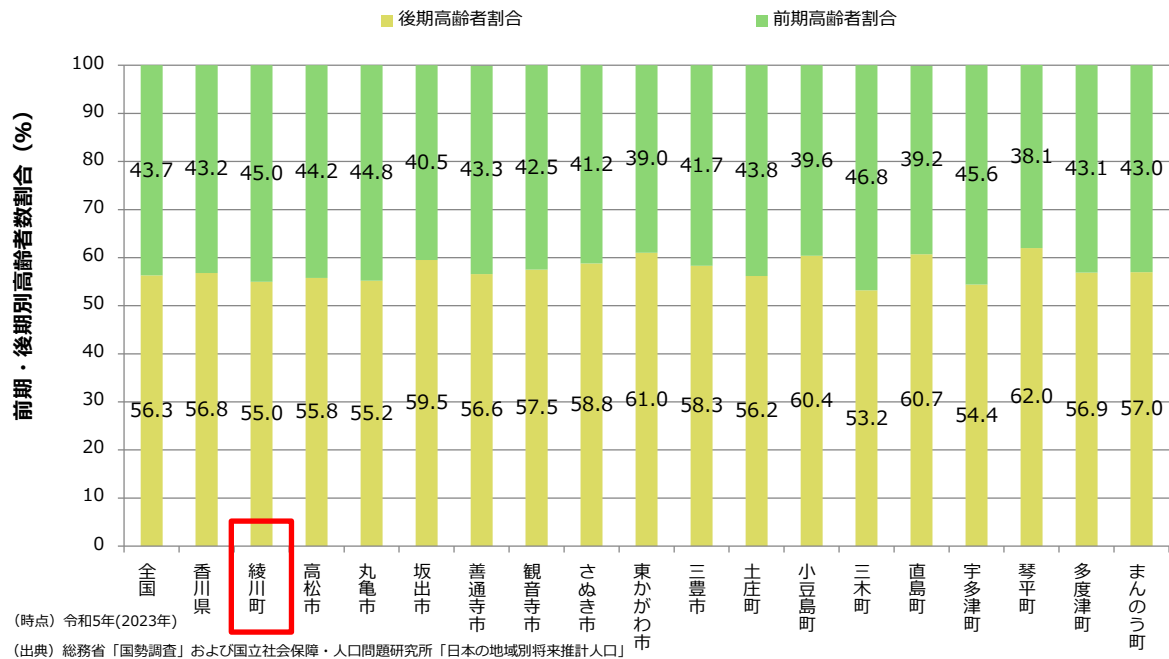


（出典）【必要保険料額】平成27年度から令和2年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和3年度から令和4年度：「介護保険事業状況報告（月報）」の12か月累計および介護保険事業計画に係る保険者からの報告値、令和5年度：直近月までの「介護保険事業状況報告（月報）」の累計および介護保険事業計画に係る保険者からの報告値

【保険料基準額】介護保険事業計画に係る保険者からの報告値

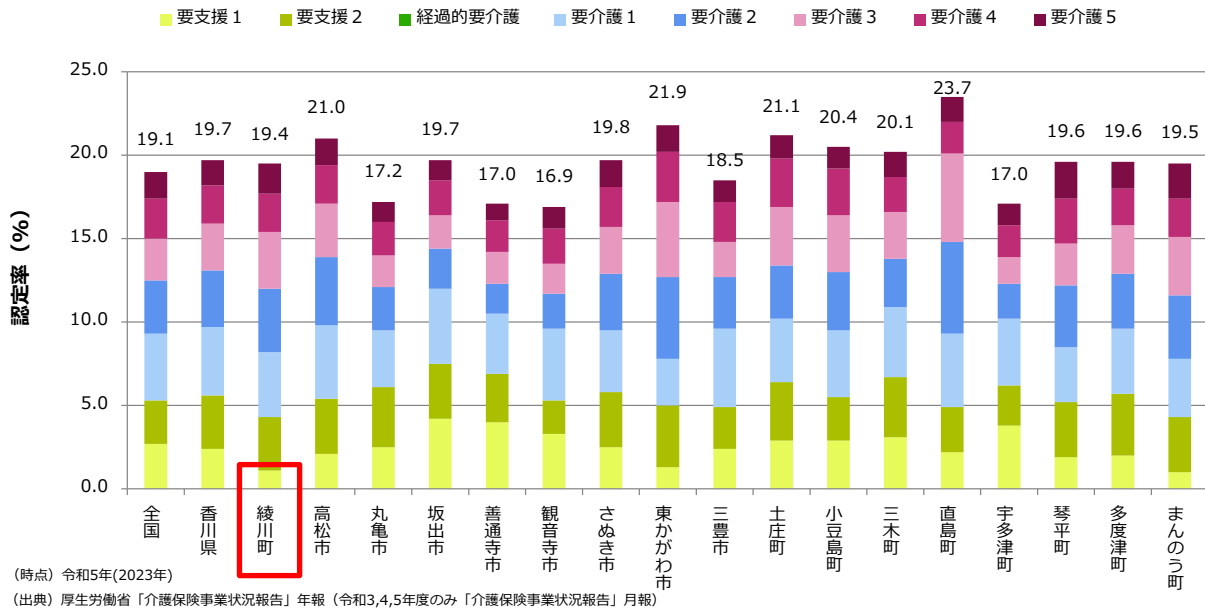
- 第6期、第7期とも、3年1期の最終年度は、必要保険料（棒グラフ）は保険料基準額（ピンク折れ線）よりも大きくなっている。第8期は、3年とも必要保険料は、保険料基準額より小さくなっている。

前期・後期別高齢者数割合（令和5年(2023年)）

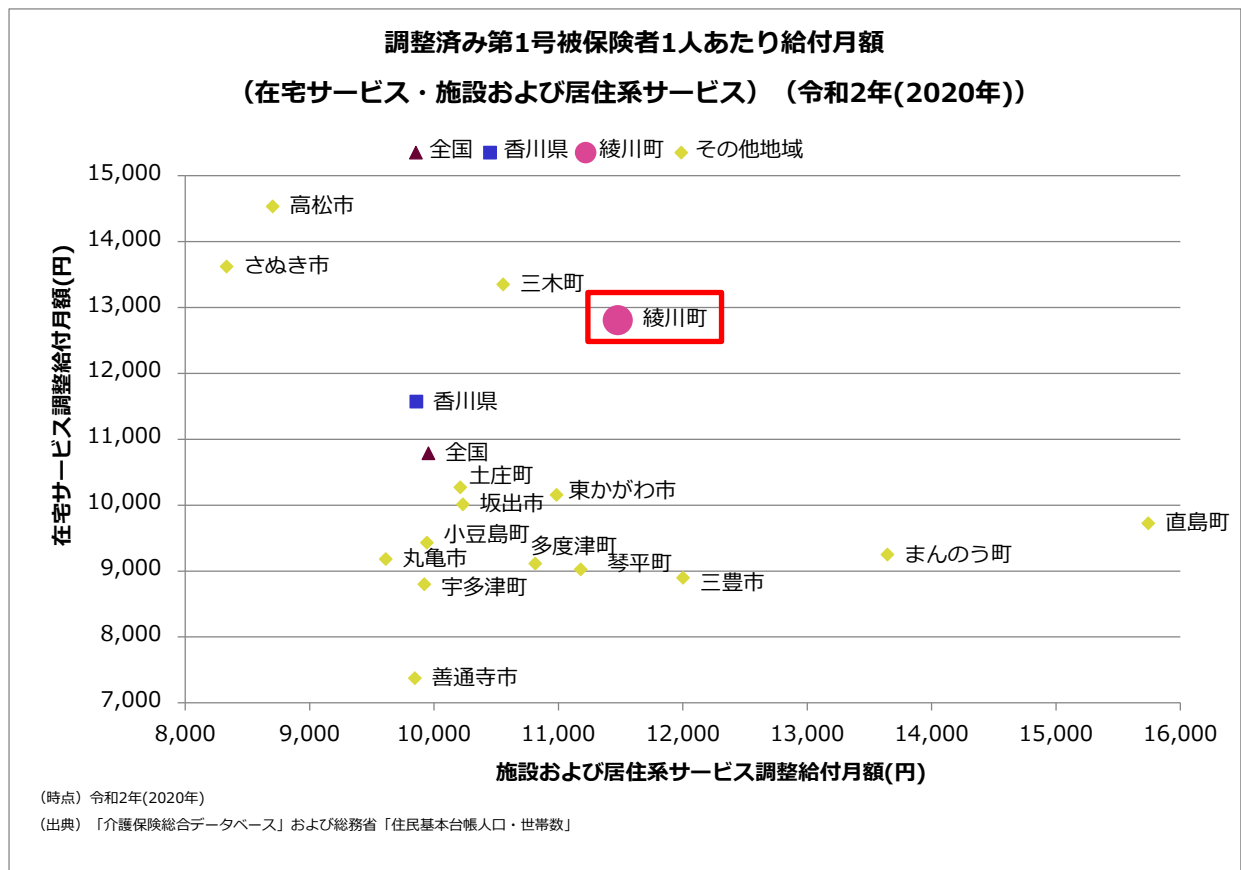


- ・後期高齢者の割合（55.0%）は、全国や県の平均よりも低く、県内市町では下から3番目である。

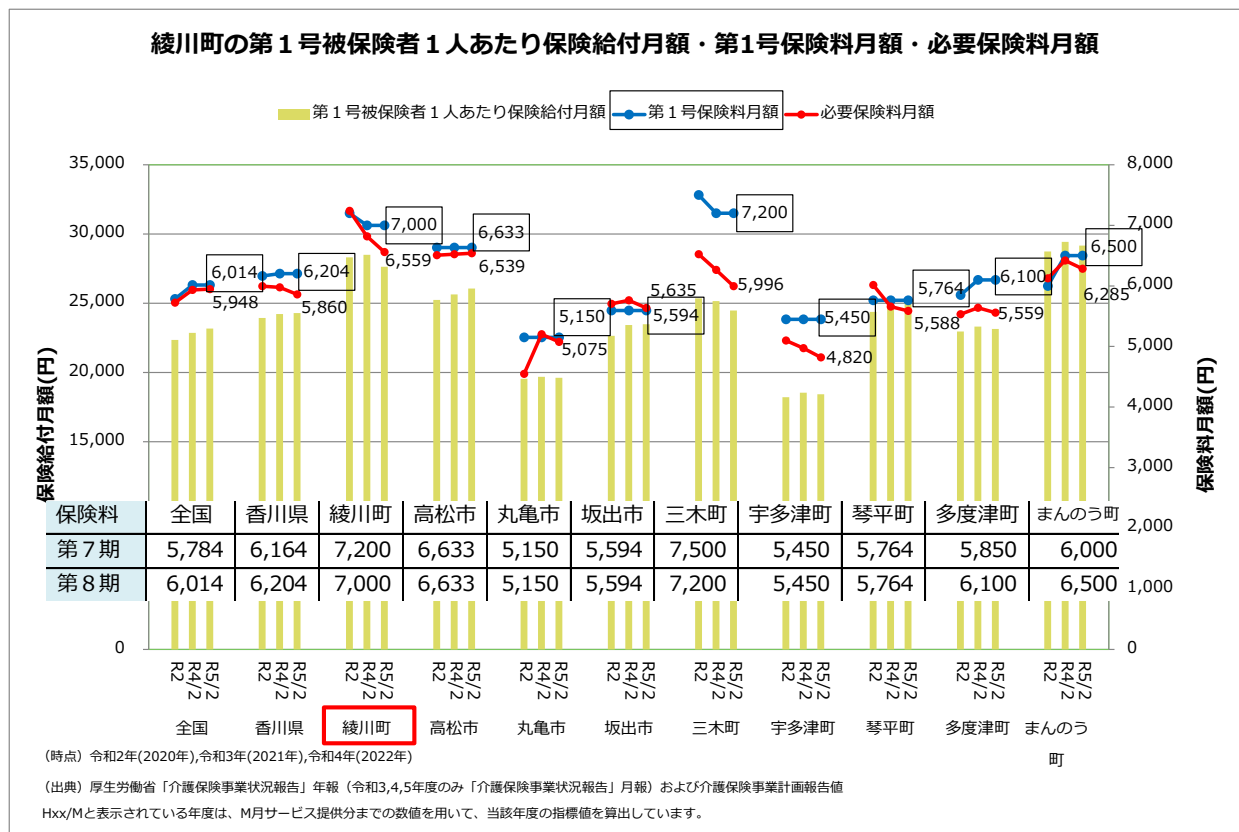
認定率（要介護度別）（令和5年(2023年)）



- ・認定率は、全国平均よりも0.3ポイント高いが、香川県平均より0.3ポイント低くなっている。県内では下から6番目である。



- 第1号被保険者1人あたりの施設および居住系サービスの給付額は県内でも中ほどであるが、在宅サービス給付額は第4位である。



- 近隣市町内との比較では、第1号保険料月額(青線)は高くなっているが、必要保険料(赤線)を大きく上回っている。8期で保険料が下がっているのは綾川町と三木町である。